

ブックトーク シナリオ

テーマ「ねこ」

実施日	平成〇年〇月〇日 (〇)	会場	〇〇小学校【中～高学年】	ブックトーカー	佐藤 敦士
ねらい	子どもたちに身近な生き物である「ねこ」の絵本を紹介し、読書を通じて「生きる」ということについて考える機会を与えたい。				

【選書】

	本のタイトル	著者	出版社	コメント
1	十二支のはなし	ゆきのゆみこ	ひさかたチャイルド	十二支の順番が、どうやって決まったのか？どうして、「ねこ年」はないのか？ねことねずみの仲が悪いのはどうしてなのか？そんな疑問にお答えします。
2	11ぴきのねこ	馬場のぼる	こぐま社	”とらねこ大将”ひきいる11ぴきのねこたちの愉快な冒険物語。親子2代にわたって楽しまれているロングセラー絵本です。
3	100万回生きたねこ	佐野洋子	講談社	100万回も死んで、100万回も生きたねこがいました。しかし、家族を持ち、はじめて愛することを知ったねこは、愛する者を失って涙を流します。
4	あしたのねこ	きむらゆういち	金の星社	“必ず、しあわせな明日がやってくる”。明日を見つめて生きるこねこの物語。全盲のイラストレーター「エムナマエ」が描く希望の絵本です。

【紹介文】

シナリオ	
はじめに	<p>○動物は、好きですか？ お家でペットを飼っているお友達もいると思います。(反応を待つ)</p> <p>○今日は、「ねこ」のお話をたくさん紹介しますね。でも、どうして「ねこ」って言うんでしょう？</p> <p>○いつも日向ぼっこをしていて、寝てばかりなので、「寝子」って言われるようになったんですよ。</p> <p>○その「ねこ」と仲が悪い動物は、何だか知っていますか？(反応を待つ)</p>
紹介	<p>○「ねずみ」と仲が悪くなった理由は、このお話の中に。【★「十二支のはなし」を手にする。】</p> <p>○「いぬ年」はあるのに、「ねこ年」がないのはどうして？その理由も、わかっちゃいますよ。</p> <p>○やんちゃな「ねこ」たちの大冒険は、この本。【★「11ぴきのねこ」を手にする】</p> <p>○ずっと読まれ続けてきた絵本です。きっと、みんなのお父さんもお母さんも読んだ事があると思いますよ。「このお話、知ってる～？」って、お父さんお母さんに聞いてみてください。</p> <p>○【★「100万回生きたねこ」を手にする】3冊目の絵本は、100万回も死んで、100万回生きた「ねこ」のお話です。でも・・・【P28～30を読む】</p> <p>○どうして生き返らなかったかのかな？・・・「生きる」ために必要なことを考える絵本です。</p> <p>○最後はこの絵本。【★「あしたのねこ」を手にして、P1～P3を読む】</p> <p>○さてさて、このあと、どうなってしまうのでしょうか？それは、読んでのお楽しみ！</p> <p>○この絵本の絵は、目が見えない人が描いたんですよ。目が見えなくなっても、あきらめないで好きなことを続けているんです。どんなに大変なことがあっても、必ずいいことがあるんですよ。</p>
まとめ	<p>○今日紹介した絵本は、ここに置いておきますので、あとでゆっくり見てください。</p> <p>○今度は、どんな絵本を紹介しようかな？(反応を待つ) それじゃ、またね！</p>

【備考】(本の他に使う物やその他メモ)

特になし